

# クロバネクビボソハムシの寄主植物

さかい 境 よしあき 良朗

クロバネクビボソハムシ *Lilioceris sieversi* (Heyden, 1887) は対馬および極東ロシア、韓国、中国に分布する大陸系の美しいハムシである (Löbl, I. & Smetana, A. (eds.), 2010)。対馬では島内全域に広く生息していると思われるが、個体数は多くない (図1)。本種の寄主植物については Takizawa (1980) が韓国での記録として *Dioscorea* sp. (ヤマノイモ属) を、さらに滝沢 (2006) は朝鮮半島での食草としてヤマノイモ類を示したが種名までは挙げられていなかった。その後、Park et al. (2012) はヤマノイモ属の一種キクバドコロ *Dioscorea septemioba* Thunb のほかにナガイモ *Dioscorea batatas* Decne とヤマノイモ *Dioscorea japonica* Thunb を寄主植物として報告した。

対馬ではヤマノイモ属の植物が5種記録されているが、キクバドコロは分布していない (邑上, 1985; 中西, 2015)。したがって、5種のいずれかを寄主植物として



写真1. クロバネクビボソハムシ (左: ♂, 右: ♀)

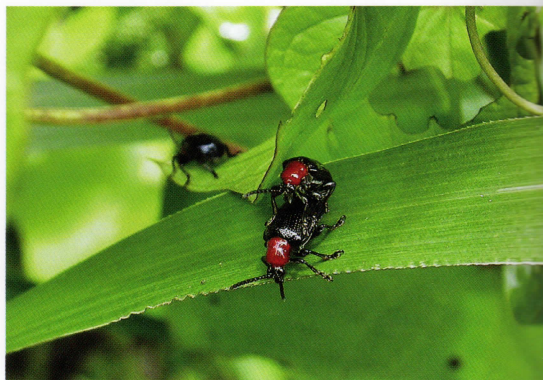


写真2. ススキの葉上で交尾するクロバネクビボソハムシ



写真3. オニドコロにつくクロバネクビボソハムシ



写真4. 食痕のあるオニドコロの葉裏にいたクロバネクビボソハムシ♂

いることは予想していたが、ナガイモ、ヤマノイモおよびニガカシュウでは確認できなかったものの、これまで記録のなかった次の2種を寄主植物としていることが明らかになった。

## 1) オニドコロ *Dioscorea tokoro* Makino

数頭 (写真2)、対馬市上県町三宅林道、17. VI. 2006 ススキの葉上の交尾個体を見つけた。すぐ側にオニドコロがあり、別個体とともに食痕が認められた。

数頭、対馬市厳原町久田、20-21. VI. 2011



フェンスに絡まったオニドコロの葉や茎に成虫がいた。

2exs. (写真3), 対馬市厳原町久田, 1. VI. 2012

前年に確認したオニドコロで連続して見ることができた。

1♂ (写真4), 対馬市厳原町東里, 22. V. 2020 (初見記録)

食痕のあるオニドコロの葉裏で越冬明けと思われる個体が見つかった。

2) カエデドコロ *Dioscorea quinqueloba* Thunb

1♂1♀, 対馬市厳原町豆酸, 29. VII. 2016

カエデドコロの葉にハムシらしき食痕が認められたので<sup>すく</sup>掘ったところ、本種が落ちてきた。カエデドコロからの初確認であった。

1♂, 対馬市美津島町濃部, 2. VII. 2017

飛翔中の個体を採集した。付近でカエデドコロが見つかったが、それらしき食痕が残っていただけだった。

1ex., 対馬市厳原町豆酸崎, 4. VI. 2018. 松尾照男氏採集

1♂, 対馬市厳原町内山, 25. VIII. 2020.

ススキの葉上にいた。近くにはカエデドコロが生えていた。

1ex. (写真5), 対馬市美津島町大船越, 16. IX. 2020, 矢後勝也氏採集 (終見記録)

カエデドコロの葉上にいた。食痕も認められた。

その他の記録として、以下がある。

1♀, 対馬市厳原町豆酸, 16. VII. 2011

1♀, 対馬市美津島町姫神山, 3. VIII. 2011

1♀, 対馬市豊玉町仁位, 22. VI. 2013.

気になるのは、韓国で確認されているヤマノイモか



写真5. カエデドコロの葉上にいるクロバネクビボソハムシと食痕



図1. クロバネクビボソハムシの確認産地

ら成虫が見つからないことである。単に未発見だけなのであろうか。

なお、確認できた出現期は比較的長く、越冬明けの5月中旬(22日)～新成虫の9月中旬(16日)であるが、同属のカタモンクビナガハムシと同じように年1回の発生だと思われる。今後は幼生期の解明に期待したい。

末筆ながら、南雅之氏には多くの有益なご助言ご指導をいただいた。また、掛澤明弘氏にも対馬のヤマノイモ科について資料を提供いただいた。記してお礼申し上げます。

#### ○引用文献

Löbl, I. & Smetana, A. (eds.), 2010. Catalogue of Palaearctic Coleoptera 6. Chrysomeloidea. 924 pp. Apollo Books, Stenstrup.

中西弘樹, 2015. 長崎県植物誌. 388pp. 長崎新聞社刊.

Park, J., J. E. Lee, and J. K. Park. 2012. Larva of *Lilioceris* (*Lilioceris*) *ruficollis* (Coleoptera: Chrysomelidae) from Korea. *The Korean Society of Applied Entomology* 51(1): 19-22.

Takizawa, H., 1980. Notes on Korean Chrysomelidae. *Nature and Life* 10: 1-13.

滝沢春雄, 2006. 日本産ハムシ科生態覚書(1). 神奈川虫報 (156): 1-8.

邑上益朗, 1985. 対馬の花Ⅱ: 陸橋の島の植物相. 151pp. 葦書房.